

要ヶ丘



発行

海士町立海士中学校

住所 海士町大字海士九四四番地

TEL 08514(2)0744

めざす生徒像に近づけたか

【校長 真野 幹】

『自ら未来を切り拓く、心豊かで、たくましい生徒の育成』という新たな教育目標のもと、めざす生徒像として、次の四点を重点に取り組みしてきました。

① 自ら学ぶ生徒（自主）

与えられたことに関しては、きちんとできていますが、「自ら進んで」という段階に達していない生徒もいます。勉強を自分のこととして受け止めることができるように指導していきたいと思えます。

② 思いやりのある生徒（共生）

周りの人のことを考えて行動できる生徒が増えてきました。しかし、一方で人が傷つくような言動も見られます。その時、その場で生徒にわかるように指導をしてきました。

③ たくましく生きる生徒（自立）

部活動の様子を見ていますと、困難な事から逃げることなく、果敢に向かっていく姿がたくさん見られました。精神的なたくましさは育ってきたことを嬉しく思います。

④ ふるわとに貢献できる生徒（郷土愛）

さまざまな体験活動や調べ学習などを通して、ふるさとの良さや課

題について考え、まとめることができました。また、たくさんの地域の方々にご協力いただき、学校だけではできないふるさと学習ができました。

保育園、小学校から行っている「ふるさと学習」を通して、子どもたちの中に、ふるさとに対する想いや誇りが着実に定着しています。そんな彼らが大人になったとき、島の内外からふるさとを支えてくれるのではないかと期待しています。

一学期を振り返って

【一年生】

一年生が一学期頑張ったことは勉強です。特に自学を頑張りました。入学したての頃は、自学のページをうめることが大変でした。けれど、先輩方やクラスのおみな自学の良い所を参考にして、自分に合った学習方法を見つけてことができました。他にも予習や復習など、授業中に困らないように工夫をする人が増えました。そのおかげで、授業の内容を理解して、わからない問題では友達同士互いに教え合ったり、クラスのチームワークも少しずつ高まったように思います。期末テストでも、中間テストより成績が上がった人たちがいました。

二学期も一年生みんなが勉強を頑張っていました。また、勉強だけでなく学校行事などいろいろなことに一生懸命取り組んでいきたいです。

【生徒】

【二年生】

一学期はみんな楽しく過ごすごうことができました。隠岐陸上や郡総体などの練習を頑張ったと思います。修学旅行に向けての準備は班で協力して取り組めたので、いい修学旅行になると思います。修学旅行は暑いと思うので、熱中症に気をつけながら楽しみたいです。また海士町をPRできるように一生懸命頑張ります。郡総体が終わり、部活の中心が二年生に変わったので引き続き頑張りたいと思います。

二学期はたくさん行事があり、大変だと思うけど、全員で乗り越えたいです。勉強も頑張りたいと思います。夏休み中には修学旅行や、家族旅行に行く人もいます。二学期に

また元気で登校できるように、ケガなく楽しく過ごしたいと思います。

【生徒】

【三年生】

4月から新年度が始まり、僕たちは最高学年として学校を引っ張っていく存在となりました。新年度が始まってすぐは、まだ最高学年としての自覚が足りなかったのですが、全隠岐陸上大会や、委員会活動などを通してどんどん最高学年としての自覚が持てるようになってきました。

今、三年生は部活動を引退し、受験のために勉強を頑張っています。放課後に学校に残って、居残り学習をし、みんなが一生懸命になって勉強

しています。

二学期も学校を引っ張っていく最高学年としての自覚を持ち、さらに受験に向かう受験生として一生懸命勉強に励みたいと思います。

【生徒】

校内弁論大会

七月十八日に校内弁論大会を行いました。各学年の代表者八名による弁論発表はどれも自分の体験から生まれたものであり、説得力がありました。自分の主張を、堂々とした態度で、力強く観衆に訴えかけました。審査の結果、二年ムラー彩グレーテルさんと一年涌井洋佑さんが学校代表

に選ばれ、九月七日に隠岐島文化会館で行われる隠岐中学校弁論大会に出場することになりました。代表の二人は夏休み中も原稿直しや練習をします。学園祭の準備と並行しての練習となりますが、上手に両立をして、堂々と主張することを期待しています。

【教員】

カルタ大会

七月六日に文化委員会企画のカルタ大会を行いました。全校縦割りのペアでの対戦とすることで、仲をより深めることと、後鳥羽院かるたに挑戦することでふるさとのよさを知ることがねらいでした。大盛り上がりの中、ねらいを達成することができました。三年井上琴音さん、二年藤田帆乃夏さん、ペアが優勝しました。

【教員】

今回のカルタ大会は、文化委員会の活動の中でも特に大きい行事でしたが、文化委員みなで協力し合うことができたと思います。準備も率先して動くことができ、とてもスムーズに行うことができました。本番でも、少し

ハプニングなどありましたが、それぞれがその場に合った対応をしてくれたので、今回のカルタ大会が成功したのだと思います。二つのねらいも達成でき、とても良い大会にすることができて良かったです。

【生徒】

球技大会

七月四日(水)の六時間目に保健体育委員会が主催する球技大会が行われました。

本大会では、全校生徒の体力を増進することと仲を深めることを目的にドッジボールをしました。勝ち負けにこだわらなくて、笑顔いっぱい楽しい大会になりました。

【教員】

今回の球技大会は、郡総体と夏休み間に企画したので、いい気分転換になったかなと思います。室内でドッジボールをしました。柔らかいボールにするなど安全面の配慮もできました。試合をしていないチームも応援していい雰囲気でした。司会進行でぐだぐだしたり、計

画するときには時間を間違えたりと委員会側に足りない部分があったかなと思います。これからはいろいろな状況を考えて計画し、もっともつといい活動にしていきたいと思っています。

【生徒】

J J week

海士中学校では、生徒の学力向上と家庭学習の習慣づけをねらいとし、毎日自学ノートに取り組んでいます。その自学ノートの取組の一環として、定期テスト期間中には『J Week』が開催されます。

今回は、七月二、三日(月・火)に行われた期末テスト期間中の自学ノートを対象に実施しました。どの生徒も第一回目と比べて、量的に

も質的にも内容の向上が見えました。今回賞に選ばれた人もそうでない人も、今回の結果やノートを参考にし、より充実した自学を目指してほしいと思います。ご家庭でも、「頑張ったね」という声掛けとともに、「今日も頑張ろう」という声掛けの方、宜しくお願い致します。

【教員】

けると喜びます。暑い中の作業が予想されますが、どうぞ宜しくお願い致します。

○二期期始業式

・八月二十三日(木)

○キンニヤモニヤ祭りパレード

・八月二十五日(土)

十七時四十五分
レインボー乗り場に集合

「母親の辛抱強さ」

隠岐汽船の中でのことです。ゼロ歳児と三歳ぐらいの姉妹、母親とおばあちゃんらしき女性の四人家族が近くにいました。七類港を出てすぐに、船が揺れ出すと二人の子どもは揺れの恐さと酔いから大声で泣き出しました。私は心の中で「うるさいなあ」と思っていました。しばらくすると母親とおばあちゃんが一人ずつ子どもを抱きかかえ、客室を出て行きました。遠くの方から二時間近く子どもの泣き声が聞こえていました。船が揺れる中、一生懸命に子どもをあやす女性の姿を私は想像していました。

そして、島前に近づき時化が収まると、泣き声のかわりに母親に語りかける女の子のかわいい声が聞こえてきました。

船が港に着き、下船する前には、周囲の人に「うるさくて申し訳ありませんでしたね。」と謝るお母さんの姿がありました。

二人の女性を見ていて、なんて辛抱強い人なんだろうと感心していました。また、周囲の人への気配りもあり、こんな母親に育てられた子どもは、きっといいお母さんになるだろうなと思っていました。二人の女性の包容力の大きさと辛抱強さにふれ、自分自身の未熟さを痛感しました。

【真野 幹】

夏季休業中等の行事について

○修学旅行

★二年生

・七月二十五日(水)～二十八日(土)

○サマーボランティアキャンプ

★三年生

・七月二十三日(月)～二十四日(火)

○PTA奉仕作業

・八月十九日(日) 八時～十時

*雨天・・・体育館集合、校舎内掃除

今年もお世話になります。できれば草刈り機、鎌、軍手等をお持ち下さい。

雨天の場合は、校舎内の清掃をしようと思っておりますので、雑巾などをお持ち頂